



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会 ニュース

2016年7月 No.180

Contents

作品コーナー	1	TOPIC 皆さん、理事選挙ですよ～	10
いよいよ第2回神奈川県臨床作業療法大会開催！！	1	連載 生活行為向上マネジメント	11
第2回神奈川県臨床作業療法大会からのお知らせ	2	TOPIC スポットライト～OTの生き方～放課後デイサービス事業所編	12
～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.1～	4	研修会案内	13
2016年度 第3回社員総会（代議員総会）報告	5	求人案内	14
理事会報告	6	財務部からのお願い	16
TOPIC “Around the World”	7	編集後記	16
各部からの報告	8		

作品コーナー

作品名 希望の虹 **製作者** 坂本 綾子 様（40代・脳出血）

作品について 病前はパン工場に勤務していました。復職したかったので、指先の巧緻運動を訓練するために製作しました。思い出の作品です。今ではパンが作れています。

●担当作業療法士：増子 航氏（新戸塚病院）



アイロンビーズ作品 “希望の虹”



巻頭言

いよいよ第2回神奈川県臨床作業療法大会開催！！

第2回神奈川県臨床作業療法大会 大会長 遠藤 陵晃



大暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

いよいよ近づいて来ました。4年ぶりに開催される神奈川県臨床作業療法大会が8月7日曜日藤沢市民会館で開催されます。チラシやホームページ上で内容を確認してもらい、多くの方に事前登録していただいています。開催準備をしている実行委員ともに身を引き締めて最後の準備に取り掛かっているところです。

今回は、作業療法士が世間から求められているものや臨床で業務に出て気になるような内容を取り上げています。また“してん”という大会テーマのもと色々な方の協力があり、小規模開催と言いつつも欲張りな大会内容ではないかと思っています。それだけ、充実できる大会の準備が出来てきたのではないかと思います。

更に一般公開講座では、奥 公一氏より認知症当事者としての講演、特別演題として国際医療福祉大学リハビリテーション医である前田 眞治先生より『脳画像のみかた』について講演、他職種連携講演として言語聴覚士である森田 秋子 ST を向かえるなど作業療法士以外の講師も多く参加して頂き、改めて作業療法士という“してん”を考える機会となるように企画運営をしています。

もちろん、作業療法士ならではの演題として『対象者

も治療者自身も活性化できる認知行動療法入門』を県立保健福祉大学の奥原 孝幸 OT より、『活動と参加を見据えた作業療法アプローチについて』を静岡県立静岡がんセンター田尻 寿子 OT より講演を頂きます。神奈川県作業療法士会では今までなかなか取り入れられていなかった各急性期、回復期、生活期のリレー発表を企画準備が出来ています。若手の発表を中心に口述発表など充実した内容が盛り込まれています。

今後の作業療法士、臨床作業療法大会の発展のために準備してきています。臨床作業療法大会に参加して頂き、会員皆様の意見をいただき更なる神奈川県作業療法士会として成長できるといいのではないかと思います。

暑い日が続きますが、湘南・藤沢で作業療法士として熱く意見交換をし、学べればと思います。また、第3回神奈川県臨床作業療法大会に繋がるように皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思います。

今年度、神奈川県作業療法士会の大きな行事の臨床作業療法大会です。当日参加も可能ですので8月7日藤沢市民会館へ足を運んでももらえればと思います。ぜひ、藤沢市民会館へスタッフ一同多くの参加をお待ちしています。

いよいよ来月開催!!

**夏といえば、湘南！潮風香る街、湘南！
今年の夏は湘南であの大会が4年ぶりに開催されます！**



大会名 第2回神奈川県臨床作業療法大会

テーマ 作業療法士のでん～視点・支点・始点～

日時 平成28年8月7日（日）9：40～17：30（受付開始9：15）

会場 藤沢市民会館

大会長 遠藤陵晃



大会長 遠藤陵晃
(クローバーホスピタル)

ところで神奈川県臨床作業療法大会って何ですか？

神奈川県作業療法士会の学会は2年におき（西暦奇数年）に開催されておりますが、その間の年（西暦偶数年）を埋める形で規模の小さい学術集会として誕生したのが臨床作業療法大会です。第1回大会はH24年、神奈川県立保健福祉大学において開催され、それからは臨床作業療法大会と作業療法学会とが毎年交互に開催されるようになりました。

第2回となる神奈川県臨床作業療法大会は開催年のH26年がWFOT開催年であり、開催は見送りとなったため今年H28年8月7日（日）に開催される大会が4年ぶりの開催となるわけです。ですから臨床4年目以下のOTの方たちにとっては初めての大会となります。

充実したプログラム

演題発表は25演題

演題発表は全てが口述発表です。

著明な先生方による数々の講演

●特別公演

脳画像の見方とポイント

前田 眞治 先生（リハビリテーション専門医） 国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学分野

●教育公演

教育講演1

対象者も治療者自身も活性化できる認知行動療法入門

～「自分にはできない」を「自分でもできるかもしれない、やってみよう！」に変える～

奥原 孝幸 先生（作業療法士）神奈川県立保健福祉大学

教育講演2

「活動」「参加」「意味のある作業」を見据えた作業療法アプローチと、
アプローチを続けるために私が心掛けていること

田尻 寿子 先生（作業療法士）静岡県立静岡がんセンター



藤沢市民会館



●症例検討会（リレー形式）

急性期、回復期、生活期で担当した OT の方々によるリレー形式での症例検討をおこないます。それぞれの時期で必要とされる OT の視点やアプローチ、また連携について参加者の皆様と検討できるプログラムです。

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. 急性期：湘南鎌倉総合病院 | 澤田 勇輝 |
| 1. 回復期：鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 | 伊藤 明日香 |
| 1. 生活期：聖テレジア訪問看護ステーション | 安部 智子 |

●シンポジウム（他職種連携）『高次脳機能障害の症例を通して先輩たちからの提言』

高次脳機能障害は複雑です。このプログラムでは新人 OT による症例紹介を行ったあと、高次脳機能で著名な先生をシンポジストとしてお招きしスーパーバイズをしていただきます。また ST の先生をお呼びし、職種による視点の違いやチームとしての連携について考えるプログラムです。

- | | |
|--------------------------|----------------|
| シンポジスト：●横浜市立脳卒中・神経脊椎センター | 作業療法士 早川 裕子 先生 |
| ●鵜飼リハビリテーション病院 | 言語聴覚士 森田 秋子 先生 |
| 症 例 報 告：●済生会横浜市東部病院 | 作業療法士 丸岡 ちひろ |



●一般公開講座 認知症サポーター養成講座

身近な病気である認知症の原因や症状の理解、認知症を取り巻く社会の変化から認知症の人も含めた誰もが住みやすい社会とはどのようなものであるかを考えていきたいと思います。講座の中では、68 歳で「前頭側頭型認知症」と診断を受けた当事者の方と、「社会の役に立ちたい」という認知症の人の思いを実現するデイサービスを運営されている方から、認知症の人が自分らしく暮らし続けるために地域住民・専門職・認知症サポーターが備えておくべき視点についてお話していただきます。

『認知症と付き合っていくこと～私たち抜きに私たちのことを決めないで～』

講 師：佐藤 隼（作業療法士）

当事者：奥 公一 氏 DAYS BLG!NPO 町田市つながりの開：前田 隆行 氏



ママさん OT も安心

●託児室の利用案内

今大会では託児室を用意しております。お子様連れでの大会参加が可能です。

- 利用資格：神奈川県 OT 士会の会員であり第 2 回神奈川県臨床作業療法大会参加者のお子さま
- 対象年齢：0 歳 6 ヶ月～6 歳（就学前）定員 5 名まで ●設置期間及び利用時間：8 月 7 日（日）9:00～18:00
- 利用料金：大会事務局負担とします。 ●申込締切り：2016 年 7 月 28 日（木）
- 申込方法：大会ホームページをご参照ください <http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/> 託児室

参加費

- 神奈川県 OT 士会会員（事前登録）・・・2,000 円
- 神奈川県 OT 士会会員（当日参加）・・・3,000 円
- 他職種参加・非会員・・・・・・・・・・4,000 円
- 学生（学生証提示）・・・・・・・・・・無料
- 一般（一般公開講座のみ）・・・・・・・・無料

※事前参加登録の受付は 7/22（金）までです。
詳細は大会ホームページをご参照ください。

大会事務局

クローバーホスピタル
神奈川県藤沢市鵠沼石上 3-3-6
TEL：0466-22-7172（リハセンター直通）
E-mail：kccot2nd@kana-ot.jp
※問い合わせはメールにてお願いいたします
大会ホームページ
<http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd>

大会HP



LINE@



ID 検索 @yss8727t

～ 第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.1 ～

第 16 回神奈川県作業療法学会 実行委員長より挨拶

神奈川県立保健福祉大学 笹田 哲

この度、第 16 回神奈川県作業療法学会を、横須賀市で開催（2017 年 7 月 2 日、神奈川県立保健福祉大学）される運びとなりました。本学会は、2 年ごとに神奈川県下の作業療法士を中心に企画・運営しております。横須賀市は神奈川県の三浦半島に位置する人口約 40 万の都市です。ペリー上陸の地、開国のまちでもあります。ペリーが来航し 160 年を超えました。

本大会テーマは「選択する未来」です。本学術大会では、身体障害領域、精神障害領域、老年期障害領域、発達障害領域から、臨床経験の豊富な作業療法士から実践を報告してもらう予定です。また研究発表のみならず、公開講座、関連書籍の紹介、機器展示業者によるプレゼンと機器体験も企画しております。若い世代に向けて、「よし、明日からまた頑張ろう！」と勇気あるメッセージをいただけるものと期待しております。今日リハビリテーションの診療に関する大きな動向として、診療報酬が 4 月に改正されました。作業療法士に対して他職種から多く期待が寄せられています。しかし一方で、作業療法は

具体的に何ができるのかと解りにくいといった声も聞かれます。作業療法はこんなことができますよと、いつでも、どこでも、作業療法ができることを発信していくことの必要性をひしひしと感じます。ここに集い、地域での最新の活動について情報を交換し交流の場を広げ、本大会が明日からの実践のきっかけになれば嬉しいです。よろしくお願いいたします。

横須賀名物「どぶ板通り」、話題沸騰中の「よこすか海軍カレー」「スカジャン」「記念艦三笠」、艦船を眺めながらの「軍港めぐり」は横須賀ならではの魅力です。すぐ近くには鎌倉、葉山があり、観光スポットも満載です。ドルの使える横須賀の地域文化にも親しみつつ、有意義な学術大会になることを願っております。多数の方のご参加を心よりお待ちしております。

なお、本大会ではホームページを開設しました。随時、情報を掲載しますので下記アドレスよりご覧下さい。
<http://kana-ot.jp/congress/kotc16th/>

第 16 回神奈川県作業療法学会リレーニュース

企画局（神奈川県立保健福祉大学） 小河原 格也

海岸では海の家準備が始まり、今年の夏もすぐそこまでやってきました。ちょうど 1 年前に事前準備会議が開催され、学会もまだ遠い先の話だと思っていたのですが、もう 1 年後となりました。「もう？ まだ 1 年後でしょ？」と思われるかも知れませんが、実は企画局にとっては今が一番ピークなのです…汗

さて、今月号から企画内容などリレー方式で情報を発信していくことになりました。そこで、今回は企画局の紹介と大枠のプログラム内容についてお知らせいたします。

まず企画局の紹介ですが、今学会では「特別講演 / 県民公開講座」「領域別教育講演 / シンポジウム」「演題発表」「特別企画」と 4 つの委員会（現時点 21 名）で構成しています。構成メンバーもベテランばかりではなく、今後県士会を引っ張っていただきたく若手の皆さんにも積極的に入っていただいております。企画局は名前のとおり、学会の企画内容を検討するのが役割であり、“一人でも多くの県士会員の皆様にご参加いただき、日頃の臨床に還元できるように”と準備を進めています。また、県学会は既定のプログラムを 1 日開催で実施するという時間的制約があるために、時間や内容のバランスなど多くの課題はありますが、企画局および実行委員で協力

し合って進めております。

大枠のプログラム内容としましては、委員会の枠組みと同様に「特別講演 / 県民公開講座」「領域別教育講演 / シンポジウム」「演題発表」および「機器展示など」を予定しております。

今学会の特徴としては、これまで身体・精神・発達の 3 領域だったものに、高齢・地域領域を設け 4 領域にて企画したところです。また、領域ごとに現状や課題等も異なるため、領域別プログラムも教育講演またはシンポジウムとして、各領域の企画に合わせて開催形式も変更しました。演題発表では、ポスター発表のみとし、100 演題の枠と多くの方とのディスカッションが行えるように時間を確保しました。更に優秀演題には学会賞を贈呈することが決まりました。なお、プログラム内容や講師などの詳細については、次号から連載。また情報はホームページや SNS 等でも更新していきますので、そちらもご覧いただければ幸いです。

参加しやすく有意義な学会となるように準備を進めておりますので、ぜひ皆様の演題発表ならびに学会参加を心よりお待ちしております。

2016 年度 第 3 回社員総会（代議員総会）報告

事務局長 福留 大輔

平成 28 年 5 月 14 日（土）、ユニコムプラザさがみはら bono 相模大野において、第 3 回社員総会を開催した。代議員総数 60 名の内、参加者 46 名、委任状 14 通で総会は成立。佐々木秀一（北里大学東病院）議長のもと、第 1～5 議案について賛成多数を頂き承認された。

総会開始は、錠内広之会長より平成 27 年 11 月 21 日に急逝した中西浩司副会長と、先日発生した熊本地震の被災者に対し、役員及び代議員、総会出席者全員の黙祷で始まった。また、平成 27 年度内に理事 3 名の辞任があり、その部・委員会の後任者について、中西理事（副会長）の後任は立てず、澤口理事 1 名で担当、鴻井理事（学術部）の後任として福留理事が兼任、鈴木理事（規約委員）の後任として名古屋理事が兼任するとの報告があった。

その後、平成 27 年度事業・予算報告及び平成 28 年事業計画・予算案の審議において、多くの代議員より活発な発言があり、今後の県士会の運営を行うにあたり、大変貴重な意見・質問を頂いた。その中でも、すでに話題となっている地域包括ケアシステムに向けて行政との連携などについて県士会の方針に関しての意見・質問が

あった。会長より行政連携への具体的な方法を、今期中に立案および実働するとの回答があった。その他の意見・質問等はウェブサイトに掲載している議事録を参照して頂きたい。

第 5 号議案では、これまで当士会の事業に顕著な功労がある田中節子先生と浅井憲義先生の名誉会員への審議がなされ代議員全員の賛成を頂いた。さらに総会の最後には、初めての表彰式を行い以下の作業療法士の表彰し閉会した。

田中 節子 先生

平成 24 年度神奈川県保健衛生表彰 受賞

浅井 憲義 先生

平成 27 年度神奈川県保健衛生表彰 受賞

渡邊 慎一 先生

平成 28 年度日本作業療法協会特別表彰 受賞

2016 年度の事業が様々な方に貢献できるよう県士会員の皆様と努めてまいりたいと考えています。何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。



理事会
報告

平成28年(2016年)度 第1回理事会議事録

日時 平成28年4月22日(金) 19:00～20:32

場所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、福留、澤口、佐藤、神保、吉本、野本、遠藤、野々垣、作田、内山、木村、村越

欠席理事：奥原、名古屋 出席監事：清宮、田中

その他：出口（広報部班長）、金山（事務局次長）・平山・井戸川（事務局：書記）

●報告・検討事項

1. 事務局（福留事務局長）

(1)報告事項

1)行政および職能団体関連

①会員派遣依頼

平成28年3月28日 かながわ・よこはま連携型バリアフリー改修シンポジウム→小河原格也氏と福留事務局長が参加

2)庶務関連

①理事辞任の件 鈴木理事、鴻井理事より辞任届けが提出された

(2)審議事項

1)総会について

審議事項

第Ⅰ号議案 2015年度事業報告

第Ⅱ号議案 2015年度決算報告ならびに監査報告

第Ⅲ号議案 2016年度事業計画(案)

第Ⅳ号議案 2016年度予算(案)

第Ⅴ号議案 名誉会員について

2)再入会の件

2名の再入会を承認

2. 財務部（佐藤理事）

(1)報告事項

1)平成27年度期末監査

・4月23日(土) 14時開催予定

2)財務部ブログ「財務's Jobs」開設・運営開始

財務情報の見える化→会費納入への会員の納得感向上、会費や財務関係情報の集約化

(2)審議事項

・予算案→承認

3. 学術部（福留事務局長）

(1)報告事項

1)学術誌刊行事業：『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2016 Vol.6 No.1』を発刊。

(2)審議事項

1)部員1名追加を承認

4. 広報部（神保理事、出口班長）

(1)報告事項

1)対外広報班

①平成27年度 企画報告

・3月12日 地域リハビリテーションフォーラムブース出展

・県士会パンフレットリニューアル、増刷

・自助具（滑り止めシート）広報促進グッズ作成

②平成28年度 企画報告

・4月2・3日相模原市民祭り「さくらまつり」にて自助具作成体験・相談ブース出展

(2)審議事項

1)部員1名追加を承認

5. 福利部（吉本理事）

1)会員交流班

①職場見学会

・～となりの職場見学見て・聞いて・体験して～『低周波刺激療法を併用した上肢・手指訓練の実際』

参加者：10名

②スポットライト～OTの生き方：『NPO法人 laule' a（遊びリパーク リノア）』 大郷和成先生

2)新入会員増加推進：新規入会会員への入会済み案内チラシ今年度より配布開始

3)新入会員オリエンテーション&歓迎会

日時：2016年6月19日(日) 12:15～13:45、

場所：横浜リハビリテーション専門学校

6. 地域リハ部（遠藤理事）

(1)報告事項

1)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

協議会の局員任期は昨年度末で満了。今年度は同じ方を再任。

2)その他

①平成28年度第7回訪問リハ・地域リーダー会議：5月20、21日で開催。遠藤理事が参加。

②神奈川県介護予防従事者研修会の報告：平成28年度も同様の研修会を協力予定。

③横浜市地域リハビリテーション活動支援事業 5月12日(木) 18:30～20:30 健康福祉センターにて 市が主催の研修会開催。

(2)審議事項

1)部員1名追加を承認

7. 制度対策部（野本理事）

(1) 報告事項

- 1) 研修会予定 社会制度対策班研修
「医療介護制度外で活躍する作業療法士」自立生活アシスタント事業への関わり
参加者 14 名（内 OT 以外 2 名）

2) 熊本地震に対する災害対策班の対応について

① これまでの流れ

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）栗原正紀代表より JRAT 本部を立ち上げる旨の連絡が日本作業療法士協会に入る。協会は JRAT に協力する形で災害支援活動を進めることを明示。派遣可能な JRAT メンバーおよび JIMTEF 災害医療研修（アドバンスコース）修了者を募っているとのこと。県士会 HP でも同内容を掲載。

(2) 審議事項

- 1) 部員 1 名追加を承認

8. 規約委員会（福留事務局長）

(1) 審議事項

- 1) 部員 1 名追加を承認

9. 学会評議委員会（内山理事）

(1) 報告事項

- 1) 第 16 回神奈川県作業療法学会第 4 回実行委員会：平成 28 年 4 月 13 日（水）19 時、神奈川県保健福祉大学

① 学会日時：2017 年 7 月 2 日（日） 学会長：玉垣 努氏

11. 公益法人化対策委員会（野々垣理事）

(1) 報告事項

- 1) 全国の PT 及び OT 士会の法人格及び代議員制度の状況確認

12. MTDLP 推進委員会（木村理事）

(1) 報告事項

1) 研修会開催予定

【MTDLP 研修】 ① 7/3（土）横浜リハビリテーション専門学校 ②③調整中。

2) 地域リハビリテーション活動支援事業（横浜市）について

横浜市の独自の事業「元気づくりステーション」への OPS の派遣を以て介護予防に資する取り組みを実施するもの。OT は MTDLP 研修会を受講済みの方を派遣していく予定。内容は「生活行為確認表」と「興味関心チェックシート」を使用して、生活行為の不具合を早期に解決すると共に意欲的な生活が送れることを支援する。



「patient」は NG ワード？

学会に演題登録をする際には、英語タイトルが必要となります。みなさんは「対象者」をどのように英語で表現していますか？一般的には「Patient」が主流だと思います。

けれど、実は世界では「patient」は NG ワードになっていることをご存知でしょうか？これは、「patient」は「患者」、つまり「病を患っている」というネガティブな印象を与えるからです。

代わりに、世界作業療法士連盟では「person with ~」という言い方をします。これならば、疾患や障害と共に生きる「人」というポジティブな印象にかわりますよね。ちなみに、「client」と主體性を表現したり、がん患者を「cancer survivor」といったりします。対象者の力を感じる、カッコいい表現ですね。

このように、単語一つでも私たちがどのように対象者を捉えているかが表現できます。さて、あなたはどんな風に対象者を表現しますか？

今後このコラムでは、このように世界の OT についての情報をお送りしたいと思います。よろしくお願いします。

おまけ情報

第 1 回アジア太平洋 OT シンポジウムが 2017 年 10 月 20-22 日に台湾にて開催されます！演題登録は、今年の 9 月 30 日まで。詳細は、世界作業療法士連盟 (www.wfot.org) の new & event のページからどうぞ。

(文責：海外生活が長いわりに飛行機は最大の苦手、陽気で引きこもりがちな K・T)

各部からの報告

福利部

平成 28 年度 日本作業療法士協会 特別表彰受賞 報告



社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団横浜市総合リハビリテーションセンターの渡邊愼一氏が、平成 28 年度日本作業療法士協会「特別表彰」を受賞しました！

去る 5 月 28 日（土）に、日経ビル 3 階日経ホールで開催された定時社員総会にて、平成 28 年度の特別表彰受賞者の表彰式が執り行われました。今年度の受賞は渡邊氏、お一人だけでした。

特別表彰は平成 26 年度に新たに規定された表彰であり、日本作業療法士協会が指定する領域のいずれかにおいて、「顕著な功績または規範として推薦に値する業績があること」（表彰規程第 3 条第 3 項第 1 号）と、その業績をもって「本会の発展に著しく寄与した」（同第 2 条第 3 号）に適合していることが要件となつて



います。

渡邊氏は、「厚生労働省技官」としての職務・活動において、同省におけるリハビリテーション専門職として嚆矢、先駆けであり、審査基準の「行政や関連団体における参画と協業」の項において、「本会の発展に著しく寄与する顕著な功績」の基準に合致した為です。

表彰式では受賞の挨拶を行い、中村会長と並んで記念撮影をするなど、和やかな雰囲気の中、出席された代議員ならびに役員、会員の皆様から、盛大な祝福を受けました。今後も神奈川県ならびに日本の作業療法の発展にますます寄与されていくことと存じます。

渡邊愼一先生のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

（文責：福利部 表彰班 畠中・吉本）

明日からの仕事に役立つ！体験研修会のご案内 ～今年もやります！職場見学・体験会～

今回は藤沢市辻堂に新規オープンされた、障がい児放課後デイサービスの「遊びリパーク lino'a (リノア)」(大郷和成氏) さんです。今月号スポットライトにも登場していただいています。

「運動機会の確保」「交流機会の創出」「社会体験の場づくり」を職場見学会の醍醐味である「見て・聞いて・体験」していただきます。詳細はスポットライト

記事をご覧ください。

職場見学会開催日程は 9 月です。

詳細とご応募は県士会 HP へ！

（文責：福利部 職場見学会班担当 池嶋 孝二）



ウェブサイト管理委員会

県士会サイトの更新情報をメールで 受け取る方法（携帯メール可）



1. 県士会サイトへアクセスする
<http://kana-ot.jp>
 2. 上部黒帯ナビの2段目中央やや右側
「新着メールマガジン・登録」をクリックする
- 
3. 記事の最下部へ移動する
 4. 「Enter email address」へ登録するメールアドレスを入力する
(携帯メール可)
 5. 「Subscribe」をクリックする
- まだ仮登録です！次の手続きへ進んでください**
6. 本登録のためのリクエスト確認メールを受信する
 7. 本文に記述されているURLへアクセスして登録完了



(文責：ウェブサイト管理委員会)

教育部

県士会ウェブサイトから
質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催のOT協会生涯教育制度関連の研修会についてお知らせします。OT協会、県士会主催事業には両方の正会員でないと参加できません。先輩会員は、OT協会、県士会への入会と各種事業への参加をおすすめください。

また、本原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、[県士会ウェブサイト](#)に掲載しますのでご注意ください。

1. 現職者共通研修：生涯教育制度の必須基礎研修で、認定作業療法士や専門作業療法士になるには最初に受講が必要です。全10テーマで、テーマ毎に受講します。第1回現職者共通研修は、9月開催予定です。

*今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

2. 現職者選択研修：生涯教育制度の必須基礎研修で、必須のMTDLP（生活行為向上マネジメント）と領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域のうち1領域を選択、選択領域は業務の領域とは関係ありません）の2テーマを受講します。受講修了には1テーマ：90分×4コマの一括受講が必要ですが、コマ単位での部分受講も可能です（ただし受講修了したとは認められません）。なお、*今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

3. 事例報告登録制度に関する研修会：事例報告登録は認定作業療法士の申請に必須です。現職者共通研修の「事例報告と事例研究」と組み合わせて、県士会独自の研修会として開催します。

(文責：教育部 奥原孝幸)

045-828-2738（直）、kyoiku@kana-ot.jp

地域リハビリテーション部

地域リハビリテーション部主催の研修案内

●第6回多職種精神保健福祉セミナー

開催日：平成 28 年 10 月 1 日 土曜日
時 間：10:00～16:00（予定）
開催地：ウィリング横浜

●第2回地域リハビリテーション人材育成研修会

開催日：平成 28 年 10 月 30 日 日曜日（予定）
※詳細が決定次第ニュースと HP に掲載

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会とは

皆さん、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会を知っていますか？

新しく会員になった方は知らない方もいるかもしれませんので、今回簡単に説明したいと思います。

現在、神奈川県作業療法士会は訪問リハビリテーション研修を含む地域関連一部（三職種関連する内容）の研修会を神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会で運営しています。この協議会の構成は、作業療法士会と公社）神奈川県理学療法士会と神奈川県言語聴覚士会の三士会から成り立つ協議会となっています。作業療法士会からは、木村理事、遠藤理事、佐藤準 OT の 3 名が役

員として介入し、訪問リハビリ実務者研修会企画や地域連絡会の把握に努めています。

協議会としては、神奈川県民が住み慣れた地域において健康で自立した日常生活を営むため、訪問リハビリテーションが質と量において社会的ニーズを満たし、高い成果を発揮するサービスに発展することを目的として活動しています。

今後は、『神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会 2016』が 8 月 27 日 28 日に開催されます。詳細は、HP (<http://kanagawa-houmon.jimdo.com/>) に掲載されています。会員皆様の参加をお待ちしています。

横浜市地域リハビリテーション活動支援事業説明会に参加してみよう

平成 28 年 5 月 12 日（木）横浜市健康福祉医療センターにおいて「横浜市の地域リハビリテーション活動支援事業説明会」が開催されました。その説明会に参加してまいりましたのでご報告させていただきます。今回の説明会では横浜市健康福祉局からの事業説明と、神奈川県理学療法士会、神奈川県作業療法士会、神奈川県言語聴覚士会によるモデル事業の報告が行われました。地域リハビリテーション活動支援事業とは、平成 27 年度の介護保険法改正で介護予防事業の一部が市町村へ移行して介護予防・日常生活支援総合事業となり、その中で新しく誕生した事業です。地域における介護予防の取り組みを強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サー

ビス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進するというのがその内容です。横浜市はいち早くこの事業へ乗り出し三士会協力のもと平成 27 度にモデル事業を市内の 2 区にて実施し、平成 28 年度より市内全 18 区において事業をスタートしています。これにより横浜市の介護予防事業に私たちセラピストが派遣されることとなりました。すでに私も 5 月中旬に横浜市鶴見区の事業へ派遣されました。地域リハビリテーション活動支援事業は地域における OT の新たな活躍の場となります。県士会でも積極的に取り組む重要課題ですので、会員の皆様におかれましてもご承知置きくださいますようお願いいたします。

〈地域ケア会議に出席された会員の方へ〉

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃいましたら、地域リハビリテーション部（chiikireha@kana-ot.jp）にご連絡をいただけますと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

（文責：地域リハビリテーション部 遠藤）

皆さん、理事選挙ですよ～

平成 29 年 3 月 31 日をもって、現在の理事は任期（2 年）満了します。
神奈川県の作業療法士会をリードしていく理事選挙に、皆さま、ご注目ください！
詳細はニュース、HP で発表していきます。

（文責：事務局 金山）





生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part4

生活行為向上マネジメント (Management Tool for Daily Life Performance: MTDLP) は作業療法士の臨床思考過程を見える化したツールです。

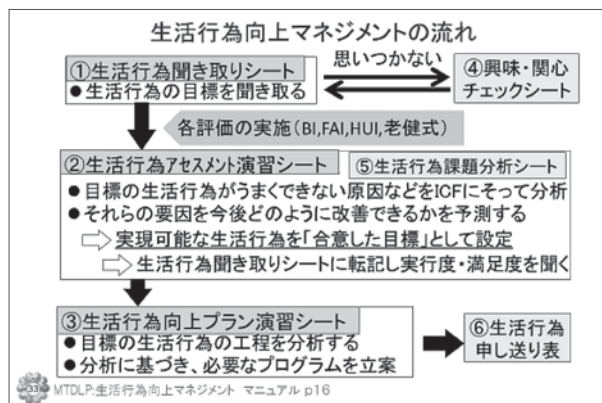
前回に引き続きMTDLPの流れとツールの紹介をいたします。

メインシート

- ①生活行為聞き取りシート
- ②生活行為アセスメント演習シート
- ③生活行為向上プラン演習シート

サブシート

- ④興味関心チェックシート
- ⑤生活行為課題分析シート
- ⑥生活行為申し送り表



生活行為向上マネジメントの流れ

今回は⑤生活行為課題分析シートについて紹介します。

サブシートに分類されていますが非常に重要なシートで、日本作業療法士協会の事例登録システムに登録する際にも必須のシートとなっております。

生活行為向上マネジメントの最初のアプローチは本人

が「やりたい!」と思っている生活行為に着目することです。しかしながら我々作業療法士は対象者のやりたいことのみ支援するわけではありません。ニーズに応じてこそ国家資格者です。ニーズがどこに存在するのかをアセスメントするために使用するシートになります。

基本動作、ADL、IADLなどの各項目について、1) 現状の能力、2) このまま推移 (した場合の能力)、3) 介入後 (の能力) について記入します。

1) は現在の能力の評価なので簡単ですが2) 3) については予後予測となり、ある程度の経験が必要になるかと思っています。

2) は作業療法もしくはリハビリテーションサービスを実施しなかった場合の能力の状況について予測します。

3) は生活行為向上マネジメントを実施した場合に能力がどの程度向上もしくは維持できるかについて予測いたします。

そして2) と3) の予測に大きな隔たりがある場合に「ニーズ」が存在すると仮定いたします。

※注意※必ずしもそうでない場合もある

このニーズがあるADLもしくはIADLに関しても、目標の生活行為と同様にアセスメント演習シートにその評価内容を記述していきます。主に目標の生活行為に関連した (連続性のある) 生活行為が挙がるのが理想的です。

本シートのより詳細な使用方法については、生活行為向上マネジメント研修会にご参加いただき、演習を体験することが望ましいと思います。研修会の日程については随時ウェブサイト等で広報いたしますので、こまめなチェックをお願いいたします。

(文責: 生活行為向上マネジメント推進委員会 木村)

次号

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part5

生活行為課題分析シート				生活行為向上マネジメント	
アセスメント項目	現状能力	予後予測 このまま推移	介入後	課題解決目標 (いまだに、どこまで?)	最終評価
基本動作				課題解決目標 (いまだに、どこまで?)	
起床・着衣					
立位保持					
床からの立ち上がり					
床の移動					
食事					
イスとベッド間の移動					
トイレ動作					
入浴					
車椅子移動					
ADL				課題解決目標 (いまだに、どこまで?)	
排泄管理					
服薬管理					
食事の用意					
食器の片付け					
洗濯					
掃除や整理					
力仕事					
買物					
外出					
IADL				課題解決目標 (いまだに、どこまで?)	
趣味					
交通手段の利用					
旅行					
社会参加					
住居管理					
家族や友人との関わり					
仕事					
年金などの書類					
健康についての記事や書籍に					
友達の家を訪ねること					
家族や友人の相談にのること					
病人を看顧すること					
病入りに自分から話しかけること					

生活行為課題分析シート

スポットライト ～OTの生き方～

放課後等デイサービス事業所 編

今回は、放課後等デイサービス事業所で地域に根ざした障がい児支援に取り組んでいる方にスポットを当てます。現在に至るまでの経緯や、特色ある魅力的な取り組みについて綴っていただきました。

「地域に根ざした障がい児への支援と挑戦 ～遊びリパーク lino'a（リノア）～」

遊びリパーク lino'a（リノア） 大郷 和成さん

出会ったセラピストに必ず聞かれる質問があります。「小児分野の経験があるんですか?」「小児に興味があったんですか?」

答えはどちらもNO。

貴重な機会をいただきましたので、私の想いと取り組みをお伝えしたいと思います。去年の8月までは、横浜市戸塚区にある新戸塚病院で副技士長として働いていました。また、促通反復療法の講師としても活動しており、去年の県学会ではシンポジストを務めました。このような経歴からは「障がい児」がみえてこないで、上記の質問をしたくなるのは当たり前ですね。

そんな私が障がい児の活動に従事することになったきっかけは、「障がい児を取り巻く環境は不公正であり、支援も十分ではない。そのような状況を解決するため、作業療法士として力を貸してほしい。」という、現在所属するNPO法人の理事長からの声かけでした。聞けば聞くほど、作業療法士の『必要性』と『可能性』を感じました。元々、『作業療法士の専門性を活かして人と社会の役に立ちたい』という想いを軸に仕事をしていた私。障がい児を取り巻く社会的な不公正を解決すべく新たなチャレンジをしよう!と決め、経験のない分野に飛び込むこととなりました。

そして去年の10月に、放課後等デイサービス「遊びリパーク lino'a」（以下、リノア）を立ち上げ、神奈川県藤沢市の辻堂団地で運営しています。放課後等デイサービスとは、学校通学中の障がい児が通う「障がい児

の学童保育」と呼ばれており、児童福祉法に基づく障害時通所支援事業所となります。

リノアは主に肢体不自由児を対象に、『4つの想い』を形にすべく活動しています。

- ①ありのままを受け入れる『居場所』であること
 - ②安心してチャレンジできる『安全基地』であること
 - ③子どもから大人まで楽しめる『遊び場』であること
 - ④社会で生きる力を身につける『学び場』であること
- これらの想いを実現するため、子供同士が自然に遊びだせる空間と機会をつくるのが作業療法士の大きな役割となっています。

ここからは、リノアの取り組みを紹介させていただきます。

「運動機会の確保」

広い空間を活用し、集団での運動遊びなどを楽しんでいます。また、免荷器具を使用した感覚統合療法なども取り入れており、発達段階に応じた個別トレーニングも行っています（写真①）。

「交流機会の創出」

リノアでは地域高齢者を対象にしたヨガ教室や子連れの主婦が参加できるダンス教室など、地域の健康づくり活動も展開しています。それらを通して、地域住民と障がい児が交流をもつ機会をつくっています（写真②）。

「社会体験の場づくり」

地域資源を活用して、買い物体験や地域貢献活動などを行い、社会で生きる力を育てています。6月には事業所内でマルシェを開催し、地域の方々がネイルサロンや漢方茶の相談などのブースを出展。リノアを利用している子供たちは、カフェでパフェづくりや売り子など就労体験をしました（写真③）。

一般の子供たちは、学校や習い事を通して様々なことを学んでいきますが、障害をもつ子供たちは、一般の子供たちと隔離され、子供同士で遊ぶ機会が極端に少ないです。だからこそ、子供たち同士が自然に遊びだせる空間をつくるのが大切です。「人」「作業」「環境」を焦点に人と社会の役に立てる作業療法士こそ、もっともっと地域に根ざした活動を展開していけると考えています。これからも地域の人とのかかわりを通して、子供た



写真①

ちが当たり前前の経験を積み重ねる機会を創っていきます！

見学はいつでもOK！ボランティアも募集中です！興味のある方は電話もしくはメールにてご連絡ください。



写真②

遊びリパーク lino'a (リノア)

〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 2-10-3-1

e-mail: info@laulea-linoa.com

TEL: 0466 (86) 7120

担当: 大郷、横川



写真③

あとかき

今回は放課後等デイサービス事業所で、作業療法士の強みを存分に活かし、地域も巻き込みながら障がい児支援を展開している方にスポットを当てました。いかがだったでしょうか。今回特集させていただいた事業所の見学については、福利部主催の「職場見学会」にて参加者を募集します。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

また、皆さまからのご感想やご意見も募集しております。県土会福利部 (fukuri@kana-ot.jp) まで是非お寄せください。今後も特色ある取り組みをしている OT さんの特集していきたいと思います。ご期待ください！

(文責: 福利部 松岡太一)

研修会案内

ハンドセラピーの全国研修会

主催: 一般社団法人 日本ハンドセラピー学会

日時: 平成 28 年 7 月 30 日・31 日

場所: 兵庫医療大学

URL: <http://jhts.org/>

明日から使える環境調整スキル第 2 回

主催: 神奈川県作業療法士会

神奈川県理学療法士会 共催

日時: 平成 28 年 8 月 6 日

場所: ウィリング横浜

mail: kana.ot.hukushiyogu@gmail.com

「中枢神経系疾患」に対する評価と治療 ～臨床的姿勢運動分析～

主催: 「進」リハの集い

日時: 平成 28 年 8 月 21 日

場所: ウィリング横浜

URL: <http://shin-reha.jimdo.com>

『脳科学からみた高次脳機能障害』

主催: NDK 横浜研修

日時: 平成 28 年 8 月 28 日

場所: 横浜市スポーツ医科学センター

URL: <http://ndkyokohama.net/>

事例で学ぶ！通所リハ実践・強化セミナー

主催: 日本通所ケア研究会

日時: 平成 28 年 8 月 28 日

場所: 東京文芸共和会館

URL: <http://www.tsuusho.com/dayreha/>

認知症研修会

主催: 認知症疾患医療センター曾我病院

日時: 平成 28 年 9 月 16 日

場所: 小田原お堀端コンベンションセンター

mail: study@soga-hp.com

A-ONE 認定評価者講習会

主催: 日本 A-ONE 研究会

日時: 平成 28 年 9 月 19 日～24 日

場所: 広島大学医学部保健学科

URL: <http://island.geocities.jp/aoneasacom/#>



求 人 案 内

作業療法士
募集

医療法人財団俊陽会 古川病院

地域医療 80 年、新子安駅徒歩 2 分のきれいな病院で
一緒に働きませんか？

募集人員：常勤 1 名

※現スタッフは P T 4 名、O T 1 名

施設概要：病床 98 床、運動器リハ、呼吸器リハ、脳血管疾患リハ

応募資格：作業療法士免許を有する方

就労期間：即日～

勤務時間：8 時 30 分～ 17 時 00 分

休 日：完全週休 2 日制（但しシフト制）、有給休暇、年末年始

給 与：年俸制 ※当法人規定により優遇。

福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り

交 通：J R、京浜急行『新子安駅』徒歩 2 分

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証の写しをご持参
ください。

問い合わせ先

〒 221-0021 神奈川県横浜市神奈川区子安通 2-286

TEL：045-441-3385

Mail：k.kondo@furukawa-hospital.jp

採用担当：近藤

.....ご連絡お待ちしております！！



作業療法士
募集

社会福祉法人 中川徳生会 市ヶ尾カリヨン病院

回復期を中心としたリハビリです。在宅支援にも力を入れています。明るく働きやすい職場です。

募集人数：常勤2名（経験者・新卒）

施設概要：回復期60床、一般60床
訪問リハ

給与：5年基本給249,000円（＋諸手当有）

福利厚生：院内託児所あり。社会保険完備

勤務時間：8:30～17:30

休日：公休月9日＋夏期冬期休暇等

応募方法：電話連絡の上履歴書持参又は下記に郵送。
見学随時受付

問い合わせ先

〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町23-1

TEL：045-511-7811（代表）

045-511-7249（リハビリ直通）

Mail：rehab@carillon-med.jp

担当：リハビリテーション部 丹野

幼児向け
療育スタッフ
募集

NPO 法人発達わんぱく会 こころとことばの教室こっこ

発達障害のある幼児に療育をするお仕事です。
ひとりひとりの子どもに合わせた療育を提供しています。

勤務地：こっこ葛西校（東京都江戸川区）

勤務日・時間：8:30～17:30 火～土の週5日勤務

給与：月給30万～35万（業績に応じて賞与あり）

手当：社保完備、通勤手当、家賃補助、自己研鑽補助あり
〈詳しくはwebサイトまたは下記にお気軽にお問合せ下さい！〉

問い合わせ先 TEL：047-702-8822 担当：よしだ





財務部からの お願い

財務部のブログ 始まり始まり～！

みなさま、ご存知でしたでしょうか？

財務部のブログが平成 28 年 3 月 23 日に開設されました！

その名は「財務's Jobs ぱちぱちだけじゃおまへんで」
(図：財務部)

ブログ開設・運営の目的は次の 2 つです。

- (1) 会費や財務関係情報の集約化→会員の利便性向上
- (2) 財務情報の見える化→会費納入への会員の納得感向上

はい？

どこからブログを見ることができるのか、わからない？

スミマセン。ご説明しますね。

こちらが県士会サイトトップページです。

(図：県士会サイトトップページ)

画面をずーっと下にスクロールしてください。

こちらが画面最下段です。(図：県士会サイト最下段)

この「県士会ブログシリーズ」の一番下にある「財務's Jobs」をクリックすれば OK です！

URL は、<http://kana-ot.jp/wpc/finance/>

ご訪問お待ちしております m(_ _)m

(文責：財務部 佐藤良枝)

(県士会サイトトップページ)

(県士会サイト最下段)



後編 編集

みなさん最近ニュースにちょぼちょぼと新しいコーナーが増えているのをお気づきですか？今回もひとつ新しいコーナーが増えました！これからも皆さんの気づかないうちに少しずつコーナーを増やしていこうと思っていますのでご期待ください（気づかれないのは困るか…）。また皆さんからもこんな記事を載せて欲しい、こんな記事を載せたい（書きたい）！などご意見・ご要望お寄せください！下記連絡先までお待ちしております。

(ぴぐめい)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈180号〉2016年7月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸 (新戸塚病院) / 桜井 大和 (佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号 TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00 ~ 15:00 メールアドレス : jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp> 作業療法 神奈川県 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

